

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大北の歴史伝承・デジタルアーカイブ化事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 縁家 (0261-22-4018)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,484,431円 (うち支援金: 1,098,000円)

事業内容

歴史を語る講師の高齢化及び減少が危惧されるなか、講話をデジタルアーカイブ化し保存と多面的な活用を目指した。今年度は、DVDを作成し貸出可能なものにした。

その他に、大町市初の登録有形文化財である平林家を始めとして大北地域に存在する国登録有形文化財を紹介する企画展を開催し、広域的に繋げた情報発信を行った。更に収集した資料を活用しマップやパンフレットを作成した。



【大北地域の国登録有形文化財展】

【目標・ねらい】

- ① 文化講座のデジタルアーカイブ化
- ② 大北地域の国登録有形文化財展開催
- ③ 国登録有形文化財紹介パンフレット・マップ作成

事業効果

- ① 文化講座をデジタルアーカイブ化し DVD での貸出を可能にした。
- ② 大北地域の国登録有形文化財を取材し、政策したパネルを中心に企画展を開催。多くの方々に貴重な建造物を紹介できた。
- ③ ②の資料を元に大北地域の国登録有形文化財を巡っていただけるマップの作成と各登録有形文化財を知っていただくためのパンフレットを作った。

※自己評価【 B 】

【理由】企画展では期間中 614 名に大北地域の国登録有形文化財を紹介することができたが、パンフレットやマップが間に合わなかった。文化講座では、参加者から講話の保存について大切なことであるとの評価をいただいたが、DVDの貸出周知に課題が残ったため。

今後の取り組み

大北地域の国登録有形文化財展については、今後も定期的に行うとともに一部常設展示を目指す。マップ・パンフレットは、各施設へも配布し大北地域を巡っていただけるようにする。

文化講座も継続実施しアーカイブ化も続け、DVDの貸出やSNSを活用した発信もできるようにする。また、子供たちにわかりやすく伝えるためのツールも検討し、郷土を学ぶために活用してもらおう。